

## 1-(1)-⑤ 免震構造から耐震構造への計画変更

川内原子力発電所でのこれまでの実績を踏まえ、原子力施設としての免震構造について詳細検討を進めた結果、現状、耐震構造が有利と判断した。

- 十分な裕度を確保し設計することにより、耐震構造と免震構造で同等な安全性の確保は可能。
- 建物に求められる機能（間接支持、遮へい、気密性、水密性、火災等）についても、耐震構造と免震構造で同等な安全性を確保した設計は可能。
- 免震構造は、当社の原子力施設として、許認可を経た建設実績がない。
- 耐震構造は、許認可を経た建設実績が豊富であり、速やかに建物・機器設計が可能であることから、早期に運用を開始することができるため、安全性の向上に繋がる。

### [原子力施設の免震構造と耐震構造の主な特徴]

			免 震	耐 震
地震応答解析	水平	加速度	小～中	大
		相対変位	大	小
	鉛直加速度		大	大
	解析モデル (手法・コード)		あり(許認可実績なし)	あり(許認可実績あり)
建物・構築物	躯体断面		大(遮へい要求により)	大
	耐火性能		免震装置の耐火被覆が必要	躯体(鉄筋コンクリート)は耐火構造のため、問題なし
機器	調達(評価性)		評価のため、一般品でも原子力仕様品レベルの管理が必要(材料、構造等)	川内再稼働工認実績有
規格・基準類			JEAG4614	JEAG4601、CCV規格 他
維持管理			躯体等に加えて免震装置の維持管理が必要	躯体等の維持管理が必要